

□理科の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

	理科の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	理科の見方・考え方をファシリテーターキャラクターとともに具体的に示していることで学びを深める理科の見方・考え方がはっきり見える工夫がされている。	◎	◎
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	実験・観察では生徒自ら安全に実施できるよう、注意をしっかりと示してあり、さらに手順動画や基礎操作の資料も適切に配置してある。	◎	◎
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	「問題発見レッツスタート!」「仮説? (課題) に対する自分の考えは?」「構想 調べ方を考えよう」「検討・改善解決方法を考えよう」など探究の過程に直結した活動のたくさん配置することで、思考力、判断力、表現力が自然に育成できるように工夫している。	◎	◎
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	各節のコラムを学習内容に適切に配置することで日常生活と自然に結びつくようになっている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	物質やエネルギーに関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	生命や地球に関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	1学年では、問題を見出す力、2学年では、解決する方法を立案する力、3年生では、振り返る力、科学的に判断する力の育成を重視している。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	探究の過程に直結した活動を配置することで、科学的な思考力、判断力、表現力が育成できるように構成されている。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や環境との関わりながら学習できる内容になっていること。	「ジオパークへ行こう!」や気象天体の継続的な観測、自然の恵み、災害の調査などを通して、自然環境への意識や保全しようとする態度の育成を図っている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用することができる内容になっていること。	学習内容を補完し、思考力、判断力、表現力の育成や知識及び技能の定着を図るためのQRコンテンツを学習内容ごとに設定している。さらに、実験観察の手順動画やシュミレーション、例題や章末・単元末の問題、思考ツールなど多様なQRコンテンツを豊富に用意している。	◎	◎
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じた適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	「校外施設を活用しよう」で日本の科学技術への興味・関心を高めるようにされている。また、2年生では巻末にペーパークラフトがつけられており、生徒のものづくりに対する興味を引き出す工夫がある。	○	○
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	身の回りのことや、キャリア教育、伝統・文化、STEAM教育などを題材にした読み物で理科の学びが深まり、理科を学ぶことの意義や有用性を実感できる。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	注意すべき観点を類型化したアイコンを付すことで、視覚的に認識しやすくなるよう配慮されている。巻末資料には、事故防止や薬品の管理、廃棄について記載されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（大日本図書）

理科の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	『問題を見つけよう』、『計画を立てよう』、『観察、実験』、『話し合おう』、『探究活動』など探究の過程が意識されている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	実験の基本操作が繰り返し掲載されているので、観察、実験の基本的な技能を身に付けさせやすい。QRコードを用いて実験の動画を見ることも可能である。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	支援キャラクターの問いかけや生徒キャラクターの発言などをヒントにして、生徒が自分なりに考えながら探究することで思考力、判断力、表現力等が自然と育成できるように構成している。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	「くらしの中の理科」などで取り上げた話題は、実社会や実生活の事物現象をさまざまな角度から捉えて考えられるように配慮している。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	物質やエネルギーに関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	生命や地球に関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	単元の配列は、小学校との接続を重視し、1分野と2分野を区別することなく、観察・実験のしやすい時期、学年によって理科室の使用が重ならないこと、発達段階などに配慮している。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	「問題を見つけよう」「計画を立てよう」などの見出しを使い、探究の過程に沿った学習を意図的に進められる構成となっている。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や環境との関わりながら学習できる内容になっていること。	自然環境の保全に関する資料には「環境」マークをつけて意識しやすいようにして自然環境の保全に寄与する態度を養えるよう構成されている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用することができる内容になっていること。	インターネットの利用、PCやタブレットなどのICT機器の活用を通して、情報の活用・処理能力が育つようにしている。しかし、ICTを活用した探究の過程があまり意識されていない。	△	△
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じた適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	さらに学びを深めるための施設の紹介があり、どの学年でも福岡の施設が紹介されているため、地域の施設との連携を図りやすい。継続的な観察を必要に応じて積極的に取り入れている。福岡に関する写真の掲載1～3学年で21枚。	○	○
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「くらしの中の理科」、「professional」などの資料で科学技術と生活のつながりが示されている。「Professional」で様々な職業の方が理科で学習することと現在の仕事との関係を語っている。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	事故防止や薬品の管理や廃棄についての大きく取り上げてある。安全上の注意事項は赤字ではっきりと記載されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 学校図書 ）

理科の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	全ての授業時間に対応した「この時間の課題」と「まとめ」が提示され、教科書の下部の同じところに「この時間の見方」「考え方」がよく分かるように掲載されている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	各実験における操作方法を豊富な写真で分かりやすく明記しているため、基本的な技能を身に付けることができると思う。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	各単元に複数設定された「探究」でさまざまな仮説を検証するための「計画」や実験結果を分析・解釈する「結果から考察する」などの場面を設け、科学的な思考力・判断力を育成できるよう構成されている。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	巻頭の「なぜ理科を学ぶの？」コラムでは身近な生活の中で科学的な探究がどのように役立つかが解説されている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	物質やエネルギーに関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気づくとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	生命や地球に関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	「Can-Do List」で単元の学習内容に見通しをもち、目的意識をもって学習に向かえるよう配慮されている。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	観察・実験を行う「探求」のページでは、科学的に探究する方法についていねいに説明し、多様な活動ができる構成となっている。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や環境との関わりながら学習できる内容になっていること。	「Can-Do List」や本文中で生物や自然を大切にすることを促し、生命の尊重と環境保全の態度を育める構成となっている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計測などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	各単元のはじめの「学びのあしあと」で、学習前にインターネットを使って情報収集することが促されている。自分が体験して感じた・知ったことと、インターネット上での事実情報の違いを実体験する工夫がなされている。	○	○
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	「継続観測と明示された探究が設定されているが、博物館は科学学習センターなどの施設名は明記されておらず、連携・協力がしやすい内容になっていない。	△	△
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「なぜ理科を学ぶの？」コラムでは、身近な生活の中で科学的な探究の考え方がどのように役立つかが、マンガ形式で解説されている。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	危険防止が必要な箇所には「注意！！」マークを表示して内容を明記している。巻末資料には、物質や試薬などの性質や用途などについて明示されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 教育出版 ）

理科の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	生徒の観察実験の過程が1本のラインで示されている。生徒キャラクターのイラストで見方・考え方をはたらかせる生徒の姿を示し、理科の学習の中で生徒が見方・考え方をはたらかせる際の参考となるように配慮されている。	○	○
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	基本的な観察、実験の方法が、示されている。巻末資料として、実験器具の使用 방법이明示されている。	○	○
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	各単元に1～2箇所ずつ位置づけられた「疑問から探究してみよう」により、思考力・判断力・表現力等が育成できるよう配慮されている。	○	○
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	科学読み物「ハローサイエンス」などで、生徒の自然環境に対する関心が高まるよう配慮されている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	物質やエネルギーに関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	生命や地球に関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	それぞれの単元は独立した構成がなされており、指導順序を組み替えても地域や学校の実態に応じた指導計画を立てやすいように配慮されている。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	各単元に1～2箇所ずつ位置付けられた「疑問から探究してみよう」により、科学的に探究する力を重点的に育成できるように構成されている。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や環境との関わりながら学習できる内容になっていること。	身近な自然環境の調査などを通して自然環境と人間の関わりにより自然界のつり合いがどのような影響を受けるかを考えさせる構成になっている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計画などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用することができる内容になっていること。	「学びリンク」コンテンツとして「グラフシート」が用意されており、コンピュータを使用した観察、実験のデータ処理やグラフ作成などに対応できるように配慮されている。	○	○
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	ものづくりについては、回路や簡単なモーターなど、原理や法則などに対する理解を深め、生徒の相違や工夫が活かせるように配慮されている。	○	○
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	「ハローサイエンス」では、日常生活や社会における科学技術との関わりに関する記述が多く記載されている。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	「理科室のきまりと応急処置」が各学年の巻頭に掲載され、理科室における基本的なルールや器具の取扱いなど、安全指導に関する内容が記載されている。巻末資料には、物質や試薬などの性質や用途などについて明示されている。	○	○

□理科の観点 教科書会社名（ 啓林館 ）

	理科の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究することができる内容になっていること。	適所に配置されたキャラクターの発言などで理科の見方、考え方を働かせた思考や表現の例が示されている。生徒の観察実験の過程が1本のラインで示されている。	○	□
2	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる内容になっていること。	実験をうまく進めるコツが「ポイント」としてしめされており、「サイエンス資料」で基本的な技能の習得が図れるよう配慮されている。さらに、実験器具の使い方などを動画でも確認できるように工夫されている。	◎	◎
3	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる内容になっていること。	「考えてみよう」「表現してみよう」「Action 活用してみよう」など思考したり表現したりする活動の場面が豊富にある。さらに、各学年に「探Q実験」が設定され、「みんなで探Qクラブ」で重点的に探究の学習過程に取り組むことで、科学的に探究する力が育つように工夫されている。	◎	◎
4	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる内容になっていること。	節末に設定された種々の科学コラムで、生徒の学習意欲を向上させている。	○	○
5	〔第1分野〕については、物質やエネルギーに関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	物質やエネルギーに関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
6	〔第2分野〕については、生命や地球に関する事物・現象を科学的に探究するために、以下の(1)～(3)の資質・能力を育成することができる内容になっていること。 (1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。 (3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	生命や地球に関しての事物・現象に対し、知識・技能、思考力・表現力・判断力、学びに向かう力・人間性等の資質、能力を育成する内容になっている。	○	○
7	各分野間及び各項目間の関連が十分考慮され、各分野の特徴的な見方・考え方を総合的に働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養うことができる内容になっていること。	どの単元から学習を始めても支障が内容に構成されており同一学年内の単元指導順序の入れ替えが自由に行えるようになっている。	○	○
8	観察、実験、野外観察が重視され、自然の事物・現象についての基本的な概念の形成及び科学的に探究する力と態度の育成が段階的に無理なく行うことができる内容になっていること。	探究の過程を通じた学習を何度も繰り返すことで科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を重視している。	○	○
9	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うことができる内容になっていること。さらに、人や環境との関わりながら学習できる内容になっていること。	生命や地球環境の歴史、連続性が紹介されており、生命や環境の大切さが実感できるよう配慮されている。	○	○
10	観察、実験の過程での情報の検索、実験、データの処理、実験の計画などにおいて、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的かつ適切に活用することができる内容になっていること。	QRコードが豊富にあり、巻頭の「ICTの活用」や「ICTマーク」、サイエンス資料の「探究の成果を発表してみよう」で、ICTを活用した情報の入手、データ処理、結果の共有・発表などの調査・研究の方法が紹介されている。さらに例題に解説動画がある。	◎	◎
11	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測が、各内容の特質に応じて適宜行われる内容になっていること。また、博物館や科学学習センターなどと「共育」の実現のために、連携、協力を図ることができる内容になっていること。	全年に継続的な観察が設定されている。科学館や博物館などの地域施設が、学習内容に関連した箇所で紹介されている。	○	○
12	科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立っていること、理科で学習することが様々な職業などと関係していることに触れる内容になっていること。	日常生活や社会との関連を意識した科学コラムが記載されている。「お仕事ラボ」で学習内容と職業の関連が紹介されている。	○	○
13	観察、実験、野外観察における事故の防止及び、使用薬品の管理や廃棄について十分配慮された内容になっていること。	観察・実験への「安全マーク」は、文字とアイコンを組み合わせている。また、「サイエンス資料」というページの中では実験の注意事項をまとめて記述している。	○	○

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 音楽

□各教科共通の観点（音楽一般）教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力を育成する内容になっている。	○ ○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の配列と内容になっている。	○ ○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	1年と2・3年の各学年の目標及び内容を踏まえて、精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が不足なく取り上げられている。	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語、社会、外国語、道徳等の教科及び、各学年間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「Active!」「表現の仕方を調べてみよう」「話し合おう」等に自分が聴き取ったことや感じたこと、自分の考えを記入する枠があり、考えたことを交流させることで、言語活動が充実するよう配慮されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が実感や親しみをもって学習を進められるように、体験的活動が取り入れられている。随所に、「説明してみよう」「交流してみよう」「話し合おう」「友達に紹介しよう」「プレゼンしよう」等が問題解決的に設定され、他者と協働し、主体的・対話的な活動になるよう紙面構成されている。	◎ ◎
	配慮事項	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	生徒一人ひとりが、それぞれの思いや意図をもって表現したり、曲を味わったりできるようなワークシートが、教科書の中に設けられている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○ ○
3	分量	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、児童の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○ ○
		ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	主要部分の教材は、各学年の授業時数の実態に応じて過不足なく扱われており、適切な分量である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	1年と2・3年の各学年の目標及び内容を踏まえて、精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が適切に配分されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野・領域において、教材性を生かした関連・対照・対比がされながら設定されており、偏りなく取り扱われている。	○ ○
		ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明文、注、作品、資料、挿絵、図等は、学習を進める上で有効に働くように配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習については、学習を深める内容「チャレンジ」と記されており、発展的な学習であることが明示されている。	○ ○
5	印刷・製本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容を深めるための動画や音源等の資料が、過不足なく配置されている。情景のイメージが大切な楽曲においては、風景映像と共に歌が流れる動画が配置されるなど、単元の目標に則してコンテンツが配置されており、効果的に情報を収集・活用できる。	◎ ◎
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインによって、楽譜、色、写真、挿絵の見やすさに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく読み間違えにくい文字である。製本は、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。	○ ○

□各教科共通の観点（音楽一般） 教科書会社名（教育芸術社）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	◎	◎
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□音楽（一般）の観点 教科書会社名（教育出版）

音楽(一般)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	○	○
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	学習する主要教材を比較することから様々な音楽の共通性や多様性を考え、その特徴を理解することができるようになっている。また、歌唱共通教材では、学習する楽曲と他の歌唱との比較や適切な写真などを載せたり、学習に必要な情報を明確に示したりするなど、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる適切な工夫がなされている。	○	○
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	創意工夫をするために、工夫するためのヒントが例示されている。また、曲想と、音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景、音楽の特徴とのかかわりを踏まえ、「主要教材」による学びを基盤にして、比較したり深めたりする内容を活用することで、より音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようになっている。	○	○
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	各分野において、様々なジャンルの代表的な作品や生徒の心情に即した教材が多く掲載されており、興味・関心をもって意欲的に取り組めるように配慮されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。	○	○
5	〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	学習する楽曲や活動を、関連させたり比較したりできるよう、巻頭の「学習マップ」で教材の配列がわかるように工夫されている。また、楽曲を通して新しく学習する〔共通事項〕がページのわかりやすい場所に明示しており、一目で把握することができる。さらに、巻末には「楽典」として中学校で学習する〔共通事項〕が載せてある。	○	○
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	各学年に「私たちのくらしと音楽」というページが設定されており、音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかを、生徒が考えることができるようになっている。2・3年上には、沖縄戦をもとに平和への願いをこめてつくられた「HEIWAの鐘」が掲載されており、音楽が人々の思いをつないだり、誰かに願いを届けたりする力をもっていることを、生徒が歌を通して実感できるようになっている。	○	○
7	表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	「話し合おう」の項目を設け、考えを交流させる工夫などがなされている。聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに、他者と協働し対話的な活動ができ、言語活動の充実を図る内容となっている。	○	○
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の民謡や伝統的な長唄などを歌唱教材として取り上げるなど、我が国の伝統的な歌唱の学習を行うことができるように配慮されている。アジア・世界の国・地域の音楽を教材として取り上げ、他国を尊重する態度を養えるように工夫されている。	○	○
9	創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	「音のスケッチ」では、創作過程がワークシートとともに示され、即興的に音を出しながら音を音楽へと構成していくうえでの手順がわかりやすい。音楽を構成図として可視化するなど、理論に偏らない配慮がなされている。	◎	◎
10	鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっていること。	郷土福岡の伝統音楽を含む、我が国各地の様々な伝統音楽が、指導のねらいに照らして適切な教材を選択できるよう、取り上げられている。特に「博多祇園山笠」については、写真とともに紹介されている。また、我が国の伝統音楽と、アジア・世界の国の様々な音楽とを関連づけたり比較したりして取り上げており、音楽の多様性や類似性を考えさせるうえで、指導のねらいに照らして教材を選択できる。	◎	◎

□音楽（一般）の観点 教科書会社名（教育芸術社）

音楽(一般)の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	☐	☐
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	学習する主要教材を比較することから様々な音楽の共通性や多様性を考え、その特徴を理解することができるようになっている。また、歌唱共通教材では、学習する楽曲と他の歌唱との比較や適切な写真などを載せたり、学習に必要な情報を明確に示したりするなど、音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる適切な工夫がなされている。	☐	☐
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	創意工夫をするために、工夫するためのヒントが例示されている。また、曲想と、音楽の構造、歌詞の内容、曲の背景、音楽の特徴とのかかわりを踏まえ、「主要教材」による学びを基盤にして、比較したり深めたりする内容を活用することで、より音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようになっている。	☐	☐
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	各分野において、様々なジャンルの代表的な作品や生徒の心情に即した教材が多く掲載されており、興味・関心をもって意欲的に取り組めるように配慮されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。	☐	☐
5	〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	巻頭に、1年間の学習内容が掲載されており、教材と学習内容との関連度の大小が、色の濃さによってわかるように工夫されている。〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素が、各教材の学習目標の下にわかりやすく示されている。巻末には「音楽の約束」として中学校で学習する〔共通事項〕が載せてある。	☐	☐
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	各学年に「生活や社会の中の音や音楽」というページが設定されており、音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかを、生徒が考えることができるようになっている。2・3年下には、東日本大震災の復興支援ソングとして作られた「花は咲く」が掲載されており、音楽が人々の思いをつないだり、誰かを励ましたりする力をもっていることを、生徒が歌を通して実感できるようになっている。	☐	☐
7	表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	「学びのコンパス」にて、考えを交流させる工夫などがなされている。聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに、他者と協働し対話的な活動ができ、言語活動の充実を図る内容となっている。	☐	☐
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の民謡や伝統的な長唄などを歌唱教材として取り上げるなど、我が国の伝統的な歌唱の学習を行うことができるように配慮されている。アジア・世界の国・地域の音楽を教材として取り上げ、他国を尊重する態度を養えるように工夫されている。	☐	☐
9	創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	「My Melody」「Let's Create!」では、見通しをもって音楽をつくることができるよう、手順が示されている。音楽を構成図として可視化するなど、理論に偏らない配慮がなされている。	☐	☐
10	鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっていること。	郷土福岡の伝統音楽を含む、我が国各地の様々な伝統音楽が、指導のねらいに照らして適切な教材を選択できるよう、取り上げられている。また、我が国の伝統音楽と、アジア・世界の国の様々な音楽とを関連づけたり比較したりさせるために、「聴き比べよう」として比較対象を紹介しており、音楽の多様性や類似性を考えさせるうえで、指導のねらいに照らして教材を選択できる。	☒	☒

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 音楽
（器楽合奏）

□各教科共通の観点（音楽器楽合奏） 教科書会社名（教育出版）

各教科共通の観点			所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と関わる資質・能力を育成する内容になっている。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学年の発達段階に配慮した教材の内容になっている。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	国語、社会、外国語、道徳等の教科及び、各学年間の関連が図られ、系統的・発展的な指導ができるように配慮されている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「表現の仕方を調べてみよう」において、感じ取ったことや考えたことを言語化して交流することができるよう配慮されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒が意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその学習方法、学習に必要な情報が明確に示されている。「表現の仕方を調べてみよう」では、考えたことを交流させるなど、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学びのねらいやポイントの明示、折り込みとなっている「ギター&キーボードコード表」「リコーダーの運指表」など、学習をサポートする工夫がみられる。多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動が多数掲載され、個に応じて、他者との協働の中で表現を工夫できるように配慮されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	配慮されている。	○	○
3	分量	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
		ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体を通して、各楽器がバランスよく取り上げられており、過不足ない分量の教材が取り扱われている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	適切に配分されている。	○	○
4	使用上の便宜	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	偏りなく取り扱われている。	○	○
		ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	説明文と器楽の奏法を説明する写真・挿絵等の配置が、一部理解しづらい。また、箏の奏法がまとまって掲載されておらず、単元を進めるうえで一部授業が展開しづらい構成になっている。	△	△
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	「Let's Play!」と「Let's Try!」の区別によって、学習のねらいに即した、発展的で多様なアンサンブル活動に取り組めるよう明示されている。	○	○
5	印刷・製本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	「まなびリンク」のピクトグラム（マーク）が示され、学習に対応した動画等の資料がWEB上に過不足なく用意されており、生徒の個別最適な学習に即して配慮されている。	○	○
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインによって、楽譜、色、写真、挿絵の見やすさに配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすく読み間違えにくい文字である。製本は、長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。軽量で丈夫な紙質の使用により、中学校音楽や他教科の教科書と合わせて持ち運びする際の生徒の身体的負担を軽減できるよう配慮されている。	○	○

□各教科共通の観点（音楽器楽合奏） 教科書会社名（教育芸術社）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	○	○
	配慮事項	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	◎	◎
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○

□音楽（器楽合奏）の観点 教科書会社名（教育出版）

音楽（器楽合奏）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	☐	☐
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	曲想と音楽の構造、楽器の音色や響きと奏法との関わりを踏まえ、器楽表現に関する知識や技能が身に付けられるような内容になっている。「Let's Play!」「Let's Try!」では、創意工夫を生かした器楽表現に関する知識や技能を高めることができるようになっている。	☐	☐
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	音楽表現に対して思いや意図を持ち、創意工夫したり自分や人の演奏のよさを味わいながら聴いたりするための、必要な視点が適切に示されている。	☐	☐
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	楽器に合った様々なジャンルの楽曲が用意されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。また、見聞きごとに、学びのねらいとまとめの曲が設定されており、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる内容になっている。	☒	☒
5	〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	〔共通事項〕に基づく学習の目標や内容がわかりやすく示されており、各領域の分野の関連を図ることができる内容になっている。	☐	☐
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れるものや、音楽文化への理解が深められる教材が選択できるように工夫されている。	☐	☐
7	表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	「表現の仕方を調べてみよう」で、自分が聴き取ったことや感じ取ったことを他者との協働で生かし、音楽や演奏の面白さを考えながら言語活動ができる内容になっている。	☐	☐
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の伝統音楽のみならず、諸外国の音楽文化に対する理解が深められるよう、様々な国の楽器や楽曲が掲載されている。自然や四季の美しさ、くらしや伝統的な行事と関わる教材により、生徒が我が国や様々な国・地域の音楽の価値観を認められる内容になっている。	☐	☐
9	創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	「音のスケッチ」では、箏の平調子の響きを生かした前奏をつくる活動など、即興的に音を出しながら音を音楽へと構成していく体験ができる内容が設定されている。	☐	☐
10	鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっていること。	和楽器の特徴を生かした楽曲が掲載されている。表現と鑑賞の関連を図ることが可能な教材を選択できるようになっている。	☐	☐

□音楽（器楽合奏）観点 教科書会社名（教育芸術社）

音楽（器楽合奏）の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	音楽科の目標達成に資する内容になっている。	☐	☐
2	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けることができる内容になっていること。	曲想と音楽の構造、楽器の音色や響きと奏法との関わりを踏まえ、器楽表現に関する知識や技能が身に付けられるような内容になっている。「アンサンブル」「楽器でMelody」「資料」では、創意工夫を生かした器楽表現に関する知識や技能を高めることができるようになっている。	☐	☐
3	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっていること。	音楽表現に対して思いや意図を持ち、創意工夫したり自分や人の演奏のよさを味わいながら聴いたりするための、必要な視点が適切に示されている。	☐	☐
4	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっていること。	楽器に合った様々なジャンルの楽曲が用意されている。様々な音楽と豊かに関わることで、学校での学びと自らの生活をつなぐことができるように工夫されている。	☐	☐
5	〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっていること。	〔共通事項〕に基づく学習の目標や内容がわかりやすく示されており、各領域の分野の関連を図ることができる内容になっている。	☐	☐
6	音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっていること。	生活や社会において音楽が果たしている役割が感じ取れるものや、音楽文化への理解が深められる教材が選択できるように工夫されている。	☐	☐
7	表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを友と図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっていること。	「学びのコンパス」で自分の音楽表現に対する思いや意図を他者との協働で生かし、音楽や演奏の面白さを考えながら言語活動ができる内容になっている。	☐	☐
8	歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土福岡の伝統音楽のよさを味わいながら愛着をもち、守り伝えるとともに、アジア・世界の国・地域の様々な価値観を認められるような内容になっていること。	我が国の伝統音楽のみならず、諸外国の音楽文化に対する理解が深められるよう、様々な国の楽器や楽曲が掲載されている。自然や四季の美しさ、くらしや伝統的な行事と関わる教材により、生徒が我が国や様々な国・地域の音楽の価値観を認められる内容になっている。	☐	☐
9	創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっていること。	「My Melody」では、箏の調弦の違いによる響きの違いを生かした旋律をつくる活動など、即興的に音を出しながら音を音楽へと構成していく体験ができる内容が設定されている。	☐	☐
10	鑑賞の活動において、我が国や郷土福岡の伝統音楽を含む我が国及びアジア・世界の国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっていること。	和楽器の学習では、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から適切な教材を選択できる内容になっている。特に、導入として各楽器を用いた鑑賞曲が取り上げられている。	☒	☒

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 美術

□各教科共通の観点（美術）教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	生徒の発達段階を考慮した内容になっている。	○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	○	○
	イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	作品解説や作者の言葉が示されており、言語活動の充実を促す配慮がなされている。また、作品の見方や感じ方が伝わるような説明があり、主体的で対話的な深い学びにつながるよう配慮されている。	○	○
	ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒の制作意欲を掻き立てるような題材や、問題解決能力が高まる題材等が各領域毎に掲載されている。また、対話が生まれるような問いや作品について説明し合うモデル等が掲載されており、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
	エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各題材において、多様な主題や多彩な表現方法が掲載されており、学びの個性化を促し、多様な価値観が認められるように配慮がされている。また、美術の持つ力で社会の創り手となっている作家やその作品等は、生徒の成長を促すよう、配慮されている。	○	○
	オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全に関する注意点を、マークで示し、視覚的に注意を促している。また、肖像権や著作権についてふれており、指導への配慮がなされている。	○	○
	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	○	○
	イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
4	使用の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	○	○
	イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習する上で参考となるページや関連付けて学習できるページが示され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	発展的な学習内容も取り扱っているが、それ以外と区別して特に明示されていない。	○	○
5	印刷・製本	各題材毎の「学習シート・鑑賞シート・ふり返しシート」がデジタル化されており、タブレットを用いて学習者が情報処理しやすくなっている。	◎	◎
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	○	○
		カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるような配色が工夫されている。見やすく読み間違えにくいユニバーサル書体で表記されている。	○	○

□各教科共通の観点（美術）教科書会社名（光村図書）

各教科共通の観点			所見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成できるような内容になっている。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒の発達段階を考慮した内容になっている。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科と関連付けて学習できる内容が示され、系統的・発展的な指導ができるよう、配慮されている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	作品解説や作者の言葉が示されており、言語活動の充実を促す配慮がなされている。また、作品の見方や感じ方が明確になるように「POINT」として提示され、主体的で対話的な深い学びにつながるよう配慮されている。	◎	◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒の制作意欲を掻き立てるような題材や、問題解決能力が高まる題材等が各領域毎に掲載されている。また、対話が生まれるような問いや作品について説明し合うモデル等が掲載されており、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各題材において、多様な主題や多彩な表現方法が掲載されており、学びの個性化を促し、多様な価値観が認められるように配慮がされている。また、美術の持つ力で社会の創り手となっている作家やその作品等は、生徒の成長を促すよう、配慮されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全に関する注意点を、マークで示し、視覚的に注意を促している。また、肖像権や著作権についてふれており、指導への配慮がなされている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習する上で参考となるページや関連付けて学習できるページが示され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容も取り扱っているが、それ以外と区別して特に明示されていない。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	発想や構想を練りたい場面で、絵画に線を入れたりコメントを書き込んで共有したりできるアプリは、分析力をより一層高める手立てとなっている。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるような配色が工夫されている。見やすく読み間違えにくいユニバーサル書体で表記されている。	○	○

□各教科共通の観点（美術）教科書会社名（日本文教出版）

各教科共通の観点			所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成できるような内容になっている。	○	○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	生徒の発達段階を考慮した内容になっている。	○	○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	学習指導要領に示されている各学年の目標に準拠した内容を不足なく取り上げている。	○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	他教科と関連付けて学習できる内容が示され、系統的・発展的な指導ができるよう、配慮されている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	作品解説や作者の言葉が示されており、言語活動の充実を促す配慮がなされている。また、作品の見方や感じ方が伝わるような説明があり、主体的で対話的な深い学びにつながるよう配慮されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	生徒の制作意欲を掻き立てるような題材や、問題解決能力が高まる題材等が各領域毎に掲載されている。また、対話が生まれるような問いや作品について説明し合うモデル等が掲載されており、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各題材において、多様な主題や多彩な表現方法が掲載されており、学びの個性化を促し、多様な価値観が認められるように配慮がされている。また、美術の持つ力で社会の創り手となっている作家やその作品等は、生徒の成長を促すよう、配慮されている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全に関する注意点を、マークで示し、視覚的に注意を促している。また、肖像権や著作権についてふれており、指導への配慮がなされている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	標準授業時数に応じた分量になっている。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	標準授業時数に応じて学習内容が配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域及び内容に偏りがなく調和がとれている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習する上で参考となるページや関連付けて学習できるページが示され、学習の深まりに有効に働くように配置されている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習内容も取り扱っているが、それ以外と区別して特に明示されていない。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	各題材に『学びのはじめに』として導入の動画が配置されており、その構成や発問内容と様々なアプリは、学びをより一層深める手立てとなっている。	◎	◎
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるような配色が工夫されている。見やすく読み間違えにくいユニバーサル書体で表記されている。	○	○

□美術の観点 教科書会社名（ 開隆堂 ）

美術の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	生活や社会の中の優れた美術や幅広い美術文化の資料が掲載されており、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっている。	○	○
2	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。	知識や技能を生かした作品やその表現法が理解できるような解説や資料が掲載されており、対象や事象を捉える際の視点や構図の工夫、アイデアスケッチの課程が紹介され、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。	○	○
3	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。	作品に記載された解説や作者の言葉が掲載されており、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。	○	○
4	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。	国内外の多様な作家作品や同年代の生徒作品のよさや美しさが際立つ資料が掲載されており、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。	○	○
5	「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。	生徒作品と合わせて「作者のことば」などが掲載されており、「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっている。	○	○
6	生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	各題材ごとに、授業の流れに沿った紙面構成など、生徒が見通しをもって活動ができるような資料が掲載されており、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	◎	◎
7	《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。	対話的な活動を通して、発想や構想の新たな気付きが得られるような学習方法などが掲載されており、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。	○	○
8	《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。	学びの個性化や個別最適化を図るために、資料の掲載と合わせて多様なデジタルコンテンツが収録されており、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっている。	○	○
9	〔共通事項〕の指導に当たっては、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっていること。	多様な参考作品や表現方法が分かりやすく整理され、生徒が主体的に学習に取り組めるような資料が掲載されており、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっている。	○	○
10	事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。	安全指導が必要な題材には、注意喚起するマークの表示と配慮事項の資料が掲載と合わせて、道具の安全な使い方を動画で確認できるようなデジタルコンテンツが収録されており、事故防止の徹底を図る内容になっている。	○	○

□美術の観点 教科書会社名（ 光村図書 ）

美術の観点	所 見	研究会	調査研究委員会
1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	生活や社会の中の優れた美術や幅広い美術文化の資料が掲載されており、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっている。	○	○
2 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。	知識や技能を生かした作品やその表現法が理解できるような解説や資料が掲載されており、対象や事象を捉える際の視点や構図の工夫、アイデアスケッチの課程が紹介され、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。	○	○
3 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。	作品に記載された解説や作者の言葉が掲載されており、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。	○	○
4 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。	国内外の多様な作家作品や同年代の生徒作品のよさや美しさが際立つ資料が掲載されており、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。	○	○
5 「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。	様々な思考方法や美術の見方や感じ方が深まる語句などが掲載されており、「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっている。	◎	◎
6 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	「みんなの工夫」には、生徒の見方や考え方が見える化された資料が掲載されており、表現及び鑑賞に関する資質能力を相互に関連させる学習の充実が図れるよう工夫されている。	◎	◎
7 《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。	観点別の「目標」など、生徒が造形的な見方・考え方を働かせることができるような資料が掲載されており、作品制作の初期段階で思いや考えを知ることで、「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。	○	○
8 《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。	学びの個性化や個別最適化を図るために、資料の掲載と合わせて多様なデジタルコンテンツが収録されており、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっている。	○	○
9 〔共通事項〕の指導に当たっては、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっていること。	全体のイメージや作風などの理解を促すために、和紙を用いることで浮世絵の素材感が感じられ、多様な視点で浮世絵の作風をまとめられた資料が掲載されており、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要な資質・能力を育成することができるような内容になっている。	◎	◎
10 事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。	安全指導が必要な題材には、注意喚起するマークの表示と配慮事項の資料が掲載と合わせて、道具の安全な使い方を動画で確認できるようなデジタルコンテンツが収録されており、事故防止の徹底を図る内容になっている。	○	○

□美術の観点 教科書会社名（ 日本文教出版 ）

美術の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっていること。	生活や社会の中の優れた美術や幅広い美術文化の資料が掲載されており、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっている。	☐	☐
2	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっていること。	知識や技能を生かした作品やその表現法が理解できるような解説や資料が掲載されており、対象や事象を捉える際の視点や構図の工夫、アイデアスケッチの課程が紹介され、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる内容になっている。	☐	☐
3	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっていること。	作品に記載された解説や作者の言葉が掲載されており、造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるような内容になっている。	☐	☐
4	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっていること。	国内外の多様な作家作品や同年代の生徒作品のよさや美しさが際立つ資料が掲載されており、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。	☐	☐
5	「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっていること。	作者の言葉や「表現のヒント」などが掲載されており、「思考力、判断力、表現力」等を高めるために、言語活動の充実を図るような内容になっている。	☐	☐
6	生徒の主体的・対話的で深い学びの実現のために、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっていること。	生徒が見通しをもって活動ができるような資料が掲載されており、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る内容になっている。	☐	☐
7	《A表現》の活動においては、発想や構想に関する資質・能力を育成する全ての事項に「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっていること。	生徒自身が造形的な見方・考え方を働かせて、自ら主題を生み出せるような題材の設定がされ、「主題を生み出すこと」が位置付けられた内容になっている。	☐	☐
8	《B鑑賞》の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっていること。	学びの個性化や個別最適化を図るために、資料の掲載と合わせて多様なデジタルコンテンツが収録されており、適切かつ十分な授業時数を確保する内容になっている。	☐	☐
9	〔共通事項〕の指導に当たっては、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要となる資質・能力を育成することができるような内容になっていること。	「鑑賞の入り口」と「表現のヒント」と「造形的な視点」を示すことで、掲載された作品から感じたことや気付いたことを基に、活動と知識を結び付けて考える資料が掲載されており、生徒が多様な視点から造形を豊かに捉え実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞の学習に必要となる資質・能力を育成することができるような内容になっている。	☒	☒
10	事故防止のため、特に、刃物類、塗料、器具などの使い方の指導と保管、活動場所における安全指導などの徹底が図られる内容になっていること。	安全指導が必要な題材には、注意喚起するマークの表示と配慮事項の資料が掲載と合わせて、道具の安全な使い方を動画で確認できるようなデジタルコンテンツが収録されており、事故防止の徹底を図る内容になっている。	☐	☐

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 保健体育

□各教科共通の観点（保健体育）教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現につながるものとなっている。	○ ○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に適応した内容となっている。	○ ○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	アイコンを活用し、他教科及び各学年相互との関連を図る記載があり、系統的・発展的に指導することができる内容となっている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元で「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」という流れで構成され、課題や資料が充実しており、言語活動の充実について配慮されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元で「見つける」「キーワード」「クエスチョン」が明記され、体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が行いやすい内容となっている。単元ごとに「活用する」「広げる」項目が設けられており、生徒の興味・関心を生かした、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各単元の「課題解決」では、学習課題を受けて、思考、判断、表現を大切にしながら「見つける」「広げる」など、ヒントや資料をわかりやすく例示しており、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされている。また、口絵に「SDGs」の紹介があり、保健体育に関連する項目について記載がある。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動・実習については、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容については、目標や内容の趣旨を逸脱しておらず、生徒の負担が過重となる内容ではない。	○ ○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各学年、単元とも授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習を進めるうえで、写真、イラスト、図、本文等が、関連を持たせて適切に配置されている。また、学習の深まりに有効に働くよう、学習のまとめとして「活用する」や「広げる」が配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習指導要領の範囲外の内容については、「発展」の表記がされており、発展的な学習内容であることが明示されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連のある デジタルコンテンツが適切に配置されている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインフォントの使用や、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体等は適切である。	○ ○

□各教科共通の観点（保健体育） 教科書会社名（大日本図書）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現につながるものとなっている。	○ ○
		イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	各学年の発達段階に適切な内容となっている。	○ ○
		ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	関連する「リンク」「他教科」アイコンを要所に設定することで、系統的・発展的に指導できる内容になっている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元、「話し合ってみよう」「学びを活かそう」といった、自分の考えを書く活動やグループで話し合う活動が位置づけられており、言語活動の充実について配慮されている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元、「つかもう」、「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」、「活用して深めよう」という順番で構成されており、基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習に取り組むことができる内容となっている。また、単元の章末に「学びを活かそう」が設定しており、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されている。	○ ○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各単元、「学びを活かそう」のページで、まとめとして考えを伝えあったりする場面が設定されており、互いの個性や価値観などの違いを理解、認識し、互いの多様性を認め合いながら学習を展開し、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動・実習については、安全・衛生面が配慮されている。	○ ○
3	分量	カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容については、目標や内容の趣旨を逸脱しておらず、生徒の負担が過重となる内容ではない。	○ ○
		ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、本文が少なく、資料が多い。授業時数から見て適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各学年、単元とも授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○ ○
		ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習を進めるうえで、写真、イラスト、図、本文等が、関連を持たせて適切に配置されている。また、学習の深まりに有効に働くよう、学習のまとめとして「活用して深めよう」が配置されている。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習指導要領の範囲外の内容については、「発展」の表記がされており、発展的な学習内容であることが明示されている。	○ ○
5	印刷・装本	ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連のある デジタルコンテンツはあるが、適切に配置されているとはいえない。	△ △
		ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字體、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインフォントを使用しているが、彩度が高く、すべての生徒にとって見やすいとはいえない。	△ △

□各教科共通の観点（保健体育） 教科書会社名（ 大修館書店 ）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会	
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現につながるものとなっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	各学年の発達段階に適応した内容となっている。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	教科書全体を通して、他教科との関連を図る「他教科」マークの数が少なく、各教科等との関連を図るよう配慮されているとは言えない。	△	△
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	各単元、学習のまとめとして自分の考えを書く活動であったりグループで伝えあったりする活動が位置づけられており、言語活動の充実について配慮されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各単元、「つかむ」、「身につける・考える」、「まとめる・振り返る」という順番で構成されており、基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習に取り組むことができる内容となっている。また、イラストや写真が豊富に使用されており、生徒が関心・意欲を高め主体的に学びに向かうことができるよう配慮されている。	○	○
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	学習のまとめとして考えを伝えあったりする場面が設定されており、互いの個性や価値観などの違いを理解、認識し、互いの多様性を認め合いながら学習を展開し、生徒が学習内容を確実に身につけることができるよう、個に応じた指導への配慮がされている。また、口絵に「SDGs」の紹介があり、保健体育に関連する項目について記載がある。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	体験活動・実習については、安全・衛生面が配慮されている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習内容については、目標や内容の趣旨を逸脱しておらず、生徒の負担が過重となる内容ではない。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	全体の分量は、授業時数から見て適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各学年、単元とも授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各分野において、偏りなく配分されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	学習を進めるうえで、写真、イラスト、図、本文等が、関連を持たせて適切に配置されている。また、学習の深まりに有効に働くよう「コラム」や「事例」「ほり下げる」アイコンが配置されている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	学習指導要領の範囲外の内容については、「発展」の表記がされており、発展的な学習内容であることが明示されている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	学習内容に関連のある デジタルコンテンツが適切に配置されている。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	ユニバーサルデザインフォントの使用や、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。また、印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体等は適切である。	○	○

□各教科共通の観点（保健体育）教科書会社名（学研）

各教科共通の観点		所見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。		
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。			
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。			
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。		
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。		
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。		
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。		
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。		
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。		
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。		
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。		
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。		
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。		
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。		
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。		
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。		

□保健体育の観点 教科書会社名（ 東京書籍 ）

保健体育の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
体育分野1	基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容についてはリンクできるような記載があり、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、基礎的な知識の定着を図ることができるようにしている。また、単元のはじめに高等学校で学習する内容についての記載があり、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野2	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野1	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野2	個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	各単元、「見つける」、「課題の解決」、「クエスチョン」という場面が設定されており、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。	○	○
保健分野3	小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	各単元のはじめに、小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、系統性のある指導ができる内容になっている。	○	○
保健分野4	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されている。また、実習資料として応急手当の方法や手順が、図や写真で示されている。	○	○
保健分野5	体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	単元のはじめに「保健体育の職業」という学習を設けることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連が図られている。	○	○
保健分野6	自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	すべての単元の中で疑問点や課題が提示されており、話し合い活動やロールプレイング、ブレインストーミングなどの学習方法ができる内容構成になっている。また、主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容となっている。	◎	◎

□保健体育の観点 教科書会社名（ 大日本図書 ）

保健体育の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
体育分野1	基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容についてはリンクできるような記載があり、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、基礎的な知識の定着を図ることができるようにしている。また、単元のはじめに高等学校で学習する内容についての記載があり、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野2	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野1	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と病気の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」、「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野2	個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	各単元、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」という場面が設定されており、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。	○	○
保健分野3	小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	各単元のはじめに、小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、系統性のある指導ができる内容になっている。	○	○
保健分野4	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されている。応急手当に関しては、見開きで写真を活用した説明がある。	○	○
保健分野5	体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	イラストや写真、ボックスや資料を豊富に掲載していることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連が図られている。	○	○
保健分野6	自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	イラストや写真、資料から生徒が主体的に学ぶための意欲・関心が喚起される内容となっている。また、話し合う場面や学習した内容を活用して深めるための活動が設定されているので、深い学びにつながる内容となっている。	○	○

□保健体育の観点 教科書会社名（ 大修館書店 ）

保健体育の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
体育分野1	基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容についてはリンクできるような記載があり、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、基礎的な知識の定着を図ることができるようになっている。また、単元のはじめに高等学校で学習する内容についての記載があり、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野2	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野1	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と病気の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」、「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野2	個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	各単元、課題をつかむ場面、考えを身につける、深める場面、考えをまとめる場面が設定されており、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。	○	○
保健分野3	小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	各単元のはじめに、小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、系統性のある指導ができる内容になっている。	○	○
保健分野4	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されている。また、応急手当の方法や手順が、図や写真で示されている。	○	○
保健分野5	体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	様々な立場の考えや価値観が記載されていることや、多様なイラストや写真、コラムや資料を豊富に掲載していることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連が図られている。	○	○
保健分野6	自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	イラストや写真、資料から生徒が主体的に学ぶための意欲・関心が喚起される内容となっている。また、学習のまとめとして自分の考えを書いたり、グループで伝えあう活動が設定されていたりするので、深い学びにつながる内容となっている。	○	○

□保健体育の観点 教科書会社名（学研）

保健体育の観点		所見	研究会	調査研究委員会
体育分野1	基礎的な知識の確実な定着を図ることができるように、各領域に共通する内容や、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、高等学校への接続を考慮した構成となっていること。	各領域に共通する内容についてはリンクできるような記載があり、まとまりで学習することが効果的な内容になっており、基礎的な知識の定着を図ることができるようになっている。また、単元のはじめに高等学校で学習する内容についての記載があり、高等学校への接続を考慮した構成となっている。	○	○
体育分野2	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されていること。	「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」、「文化としてのスポーツの意義」の3つの内容で構成されている。	○	○
保健分野1	「健康な生活と疾病の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」及び「健康と環境」の4つの内容で構成されていること。	「健康な生活と病気の予防」、「心身の機能の発達と心の健康」、「傷害の防止」、「健康と環境」の4つの内容で構成されている。	○	○
保健分野2	個人生活における健康に関する課題を解決することを重視する観点から、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっていること。	「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」という場面で、生徒が普段の生活や経験、学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりすることができる内容が充実している。したがって、自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができ、生徒が健康で豊かな生活を送るための実践力の育成につながる内容が工夫されている。	◎	◎
保健分野3	小学校及び高等学校の内容を踏まえた系統性のある指導ができる内容になっていること。	各単元のはじめに、小学校で学習した内容、高等学校で学習する内容についての記載があり、系統性のある指導ができる内容になっている。	○	○
保健分野4	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されていること。	ストレスへの対処、応急手当の技能に関する内容が示されている。また、応急手当の方法や手順が、図や写真で示されている。	○	○
保健分野5	体育分野と保健分野の関連を図ることはもとより、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連を図り、日常生活における体育・食育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっていること。	単元のはじめに「ひと・もの・こと」という学習を設けることで、関連する教科や道徳科、特別活動のほか、総合的な学習の時間、運動部の活動などとの関連が図られている。	○	○
保健分野6	自他の健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容になっていること。	各単元の中で「活用する」という場面があり、自他の健康に関心をもち、健康に関する課題を解決する主体的・対話的で深い学びにつながる指導方法の工夫を行うことができる内容が充実している。	◎	◎

令和六年度

福岡市教科用図書調査研究委員会

調査研究報告書（答申）

中学校 技術・家庭
（技術）

□各教科共通の観点（技術・家庭 技術分野） 教科書会社名（東京書籍）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができるように、各編が「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」で構成されている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学習内容は発達段階に適応している。		○	○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	全内容、不足なく取り上げている。		○	○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	学習のまとめごとに、教科間・学校種間の連携を高めることができるように「他教科リンク」マークと学習内容が記述されている。	◎	◎
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	生徒のワーク例やレポート例が充実しており、目的に応じて書く力を高めるようにされている。必要に応じて情報を得たり、発信したりできるよう情報手段の基本的な操作について巻末にまとめられている。	◎	◎
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	「主体的・対話的で深い学び」につながる場面として「考えよう」「やってみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」などの活動が多く、節の最後に「まとめよう」「振り返ろう」「深めよう」が設けられている。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	問題解決例が豊富で、授業時数などに応じて実習題材を選ぶことができる。「TECH Lab」では、基礎・基本的な技能をまとめて掲載されており、進捗状況に応じて確認できるようになっている。	○	○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	巻頭の「作業を安全に楽しく進めよう」において安全な環境、安全な行動、安全な作業における注意事項を記述しているため、安全への意識を高めてから実習に取り組むことができるようにされている。	○	○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	それぞれの編の各章・節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで丁寧に記述されている。	◎	◎
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分などから見て偏りがなく適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各編は、「編の導入」「基本ページ」「学習のまとめ」の構成されている。授業時数に対して内容が適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域における内容の分量は、偏りなく扱えるように構成されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	本文、イラスト、写真、図表等の配分は適切で、かつ関連を持たせた構成になっている。指導計画等に応じて活用できるよう、図表等の資料が掲載されている。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	巻末には「学んだことを将来に生かす」があり、技術分野の学習を発展的に広げる内容であることが明示されている。	◎	◎
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	本文の近くにデジタルコンテンツを示す「Dマーク」記載され、QRコードは見開き右ページの上段に記載されている。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	誰でも読みやすく、正確な書体を使用されているが、資料の部分において、文字の大きさが小さく読みにくい部分がある。	△	△

□各教科共通の観点（技術・家庭 技術分野） 教科書会社名（ 教育図書 ）

各教科共通の観点		所	見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	学習指導要領の目標に対応した系統的な配列になっており、技術分野の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身に付く構成になっている。	○	○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適応していること。	学習内容は発達段階に適応している。	○	○	
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	全内容、不足なく取り上げている。	○	○	
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	各章ごとの資料に、他教科との学習の関連を表すマークが示されており、教科間の学習の連携がとれるように配慮されている。	○	○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	「やってみよう」に結果をまとめ、話し合いや発表などに活用できるレポートが掲載されている。さまざまな情報の技術の活用例を例示し、情報を適切に活用する能力が育成できるように工夫されている。	○	○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	2章「技術をいかそう」の章末では、設計・計画、計画・育成のまとめをグループで発表し合うことで、対話的な活動を通して自らの設計をふり返り、深い学びを実現できるように配慮されている。	◎	◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。 また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	幅広い実習題材をそろえられているため、授業時数や生徒の実態に応じて実習題材を選択できるようになっており、生徒の習熟度や進度差に対応できるようになっている。	◎	◎
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	ものづくりでは、各作業場での注意事項があり、安全な作業が不可欠であることを意識づける配慮がされている。別冊「スキルアシスト」では、作業手順や工具の安全な使用が示されている。	◎	◎
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	発展的な学習の内容はなく、基礎的・基本的な学習内容で構成されている。	○	○
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分などから見て偏りがなく適切である。	○	○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各編を1章「技術を見つめよう」2章「技術をいかそう」3章「未来をつくろう」で構成されている。内容は適切に配分されている。	○	○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域における内容の分量は、偏りなく扱えるように構成されている。	○	○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	実習を進める上で、技能を習得したいときに参考にできる別冊「スキルアシスト」が付属されている。写真や図などの資料が大きく見えるため、授業で使いやすい。	○	○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	発展的な学習の内容はなく、基礎的・基本的な学習内容で構成されている。	○	○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	QRコードが教科書の実習題材や別冊「スキルアシスト」の各ページに記載されている。	○	○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	文字が大きく、紙面の構成が統一されている。全体的に目に優しい色づかいで、写真が細部まで鮮明に印刷されている。	○	○

□各教科共通の観点（技術・家庭 技術分野） 教科書会社名（開隆堂）

各教科共通の観点		所 見	研究会	調査研究委員会
1	内容の範囲及び程度	ア 教科の目標達成に結びつく内容になっていること。	各内容で共通して、社会における技術に気づき、基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、社会や環境と技術とのかかわりについて理解を深められるようになっている。	○ ○
	イ 内容の程度は、その学年の生徒の発達段階に適切していること。	学習内容は発達段階に適切している。	○ ○	○ ○
	ウ 学習指導要領に示す教科及び学年、分野の目標に従い、学習指導要領に示す学年、分野の内容及び内容の取扱いに示す事項を不足なく取り上げていること。	全内容、不足なく取り上げている。	○ ○	○ ○
2	内容に関する配慮事項	ア 各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるように配慮されていること。	小学校や他教科とのつながりを書く内容のとびらページに示されている。また、文中で関連がある箇所にはマークが示されている。	○ ○
		イ 読解力等の言語能力や情報活用能力の確実な育成を図っていく上で必要な言語活動の充実について配慮されていること。	実習例における設計や計画などを文章によって表現できるようになっている。各中項目のまとめとして、ワークシートによって調べたことや考えたことを文章でまとめる活動が設けられている。	○ ○
		ウ 「第2次福岡市教育振興基本計画」に示されている「確かな学力の向上」のために、多様な体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習が重視されているとともに、生徒の興味・関心を生かし、主体的・対話的で深い学びが促されるよう配慮されていること。	各小項目に「学習課題」を設けることで生徒が授業へ積極的に取り組むことができるようになっている。また、「やってみよう」などの活動を通して、他者と交流しながら技術を深められるようになっている。	◎ ◎
		エ 生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、個に応じた指導への配慮がされていること。また、互いの個性や価値観などの違いを理解し、多様性を認め合いながら学習を展開するとともに、持続可能な社会の創り手として成長できるよう配慮されていること。	各編の終末では、さまざまな技術を組み合わせ、統合的な実習が取り上げられており、社会の問題に技術で対応するための考え方を深められるようになっている。	○ ○
		オ 体験活動、実験・実習等は、安全・衛生面が配慮されていること。	安全教育は総合的な取り扱いに加え、個々の学習場面と関連づけられている。安全に関するマークが表示され生徒に着目させることができるように示されている。	○ ○
		カ 学習指導要領に示す内容及び内容の取扱いに示す事項を超えた事項（以下「発展的な学習内容」という。）を取り上げている場合には、学習指導要領の目標や内容の趣旨を逸脱したり、生徒の負担が過重となったりすることがないように配慮されていること。	各内容の系統性は、基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されている。生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークが付けられ、本文と関連づけられている。	◎ ◎
3	分量	ア 全体の分量は、授業時数から見て適切であること。	各内容の分量は、時数、学期、学年配分などから見て偏りがなく適切である。	○ ○
		イ 学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして図書の内容に適切に配分されていること。	各章を「技術の基礎・基本を学ぶ」「技術による問題解決を行う」「技術の未来を考える」で構成され、内容は適切に配分されている。	○ ○
		ウ 各分野、領域及び内容に偏りがなく調和がとれていること。	各領域における内容の分量は、偏りなく扱えるように構成されている。	○ ○
4	使用上の便宜	ア 本文、問題、説明文、注、作品、資料、挿絵、写真、図等は、学習を進める上で、関連を持たせて用意され、学習の深まりに有効に働くように配置されていること。	写真や図版は分かりやすく、必要な箇所では、生徒が自分で作業をしているように見えるアングルで撮影した写真が使用されており、生徒が理解しやすい。	○ ○
		イ 発展的な学習内容を取り上げる場合には、それ以外の内容と区別され、発展的な学習内容であることが明示されていること。	各内容とも、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に構成されている。	○ ○
		ウ 1人1台端末を活用し、効果的に様々な情報を収集・整理・分析できるよう、学習内容に関連のあるデジタルコンテンツが適切に配置されていること。	全ての学習課題に学習コンテンツが収録されていて、各ページの上部にQRコードが記載されている。	○ ○
5	印刷・製本	ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、教科用図書として、すべての生徒が使用しやすいように、印刷は鮮明であり、文字の色合いや大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料等が適切であること。	色覚特性に配慮されている。単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすい。	○ ○